

安心して1年生を迎えるために！

◎ 子供と一緒に通学路を歩いてみましょう

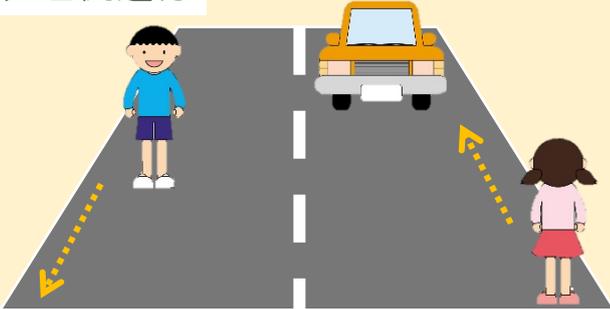


〈歩行指導のポイント〉

歩く場所

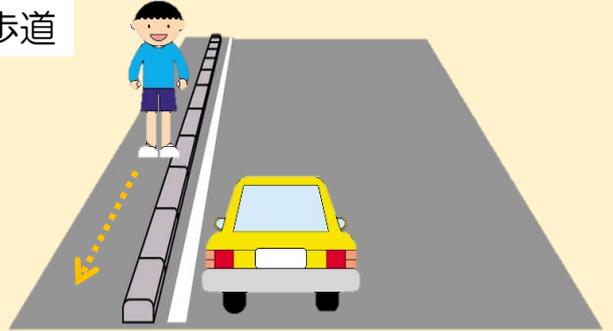
- 歩道や路側帯では、自転車が走ってくることもあるので建物や壁よりを歩きましょう。

(1) 右側通行



車両と対面通行になるように、道路の右側を広がらずに歩きましょう。

(2) 歩道



歩道があるところは、歩道の中を歩きましょう。

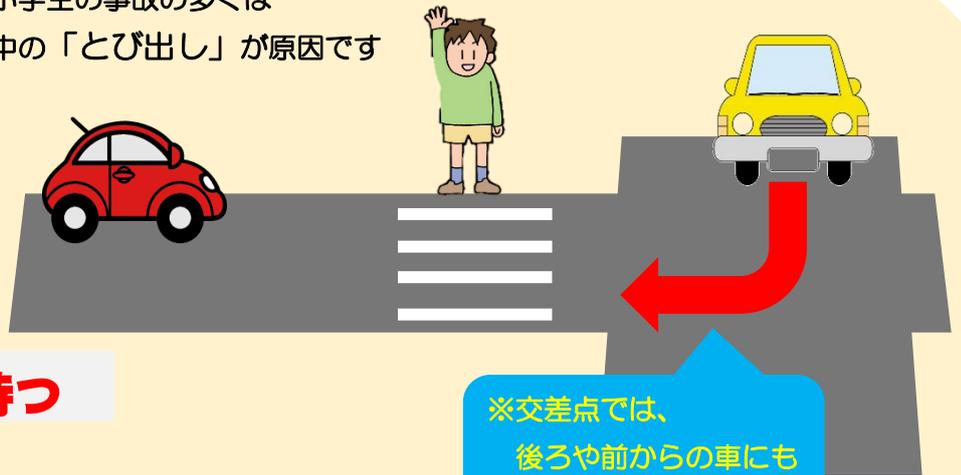
(3) 路側帯・グリーンベルト

白い線・グリーンベルトからはみ出さないように歩きましょう。

渡り方

- 幼児・小学生の事故の多くは歩行中の「とび出し」が原因です

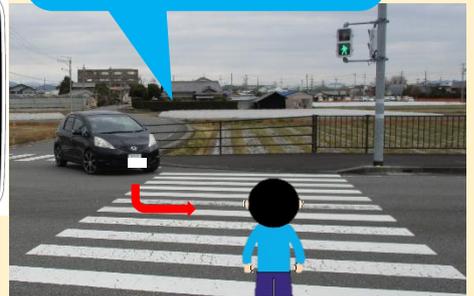
- ① **止まる**
- ② **手をあげる**
- ③ 車**を見る**
- ④ 車が止まるまで**待つ**



※交差点では、後ろや前からの車にも注意を向けましょう



待っている間は後ろにさがって待ちましょう。



青信号でも安全確認！

〈指導する上での注意点〉

子供の目線に立って指導を！

■子供の特徴

子供の視野は大人と比べて狭く、視点が低い
大人と同じように、危険性は感じるができない



■指導方法

大人もしゃがんで、子供の目線になり、一緒に危険を確認しましょう。

具体的な言葉で声掛けを！

■声掛け方法

「あぶないよ」「気をつけてね」というような抽象的な言葉よりも
「渡る前に、ここで止まるよ」「車が来ているから待つよ」など、状況に応じて具体的な指導をしましょう。



■通学路を歩きましょう

行き・帰り道に危険性が高い場所を確認。

(交通量が多い交差点・駐車場前など)

繰り返しの指導で、子供自身で考え安全に通行できるように、
登下校の練習をしましょう。

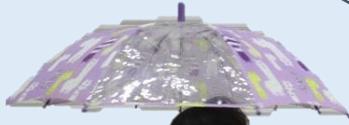
◎傘の持ち方の練習をしてみましょう



小学生になったら雨の日も自分の力で歩くことになります。
雨の日は、傘でまわりが見えにくく、雨の音でまわりの音も聞こえにくくなります。
傘を安全に使用できるように、繰り返し練習をしましょう。

持ち方

両手で真っすぐ持ち
前後左右が見えやすく！



開閉時

下に向けて
開く・閉じる
【傘のマナー】

※ まわりを見て、人がいない方で
傘の先を下に向けて開きましょう。



横断時

まわりがよく見えるように、
傘を少し上にあげましょう。



先輩保護者から、『これをやっておけば良かった!!』の声

- ・ 雨の日に傘をさして歩く
- ・ 親子で何度も通学路を歩く
- ・ 親子で通学路を歩いて危険箇所を確認する
- ・ 一人で歩かせて、こっそり後ろをついて行く
- ・ 通学路を一緒に歩いて子供の足で何分かかるか確かめる

